



青少年指導員だより

金沢区

Youth 21



愛称・あいちゃん

発行 金沢区青少年指導員協議会
編集 広報部会金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所 地域振興課内
電話 (045) 7 8 8 - 7 8 0 7 番
FAX (045) 7 8 8 - 1 9 3 7 番

会長あいさつ

金沢区青少年指導員協議会会長 小林 利彦

第23期に続き、協議会の会長に就任しました小林です。どうぞ宜しくお願いいたします。皆様には、日頃より青少年指導員活動に対しご理解・ご協力を頂き感謝申し上げます。最近の子どもたちの様子を見ますと全国的に青少年が巻き込まれた事件、あるいは青少年が起こした事件などの痛ましいニュースが、テレビなどで取り上げられています。青少年を取り巻く社会環境が大きく変化している今日、家庭内のコミュニケーション不足や、家庭と地域との交流不足なども原因と思われる。

子どもの自主性や社会性を育み豊かな心を持つ青少年の育成には、やはり家庭・学校・地域が一体となって積極的に協力し合う必要が有ると思います。

私たち青少年指導員も「子どもを地域全体で守り育む」という姿勢で、活動を続けてまいります。今後とも地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



○副会長 福島盛治

所属は六浦地区、今期の金沢区学校家庭地域連携事業と青少年交流ステーション・かなざわを担当します。各地区との連携プレーで、青少年育成活動を進めて行きたいと思っております。



○行事部長 海野 元

行事部では、児童や生徒から笑顔があふれるような行事を企画／運営します。たくさんのお子さんと生徒が参加してくれることを待っています。



○副会長 小林淑高

今期2年、微力ながら副会長を引き受けました。地域の肉声と青少年の熱声を反映できるように責務を果たせればと考えています。宜しくお願いいたします。



○広報部長 福島正博

9月と3月の本紙発行を通して、各地区の地域活動を紹介し、みなさまのお役に立てるような紙面づくりを目指しております。



○会計 富樫法仁

近年の予算編成は、消費税UP・予算減額などに対して、「重要事業の継続」と「人(知恵)によるソフトアプローチの拡大」による健全育成に取り組んでいます。



○育成部長 内田典克

部長として3年目になりますが、まだまだ未熟者です。地域の皆さんと共に色々な活動を行っていききたいと思いますので、今後よろしくお願い申し上げます。

全市一斉統一行動パトロールを実施

7月19日(土)22時から、青少年指導員が一丸となって、全市一斉に夜間パトロールを行いました。

青少年を取り巻く社会環境健全化活動の一環として、毎年行われているこのパトロール。地域ごとに繁華街、公園、学校周辺など、青少年の集まりやすい場所や人通りの少ない場所をまわります。当日は夏休み開始直後ということもあり、青少年がたむろしているところは少なかったですが、公園で青少年を見かけた時には、注意喚起などの声かけを行いました。

地域の様子を知ることができる、有意義なパトロールでした。





2014 ジュニアサマーキャンプ



たくさんの仲間ができました



川あそび ～水が冷たい！～

8月2日(土)～4日(月) 金沢区青少年指導員協議会主催により山梨県道志の森キャンプ場にて毎年恒例のジュニアサマーキャンプを行いました。

このキャンプは、金沢区内の小学4年生から高校3年生までの子どもたちを募集して、今年は小学生49人、中学生7人が集まり、それに青少年指導員17人と看護師1人を加えた総勢74人で行いました。

7月に行われた事前説明会のときに3日間行動を共にする男女別10人程度の班分けをしますが、学校も学年も違うキャンプの参加で初めて出会った者同士、最初はなかなか話ができずに戸惑う子どもも多く見受けられましたが、班長や食事係、清掃係など役割分担を決めていくうちに打ち解けていきました。

1日目はキャンプ場到着後、川遊びを楽しみ、夕食をみんなで手分けして作りました。お米を研いで飯ごう炊飯でご飯を炊く子、ニンジン、玉ねぎなどの野菜や肉を慣れない包丁を使い刻んでいく子、レタスを千切ってサラダを作る子、子どもたちが切った食材を指導員が鍋に入れカレーを作りました。みんなで作ったカレーはあっという間になくなってしまいました。

食事の後はナイトウォーク(肝試し)です。班ごとに真っ暗な夜道を1つの懐中電灯を頼りに歩いていきます。途中で変装した指導員が驚かすのですが、驚く班もあれば驚かない班もあり、これはこれで楽しい時間でした。

2日目の昼食も自分たちで作ります。まずは鱒のつかみどりを行いました。川の一部をせき止め、そこに鱒を放し、子どもたち自らの手で獲ります。必死に逃げる鱒を追いかけて、仲間と隅に追い込んで獲る子、気持ち悪いとなかなか獲れない子もいました。獲った鱒は自分でさばきます。ナイフで内臓を取り出しホイル焼きにしました。

次にパンを作ります。班ごとに協力し、こねて発酵させ竹串に巻いて焼き上げます。続いて野菜や肉を刻み焼きそばを作りました。こうして完成したお昼ごはんもおいしくたくさんいただきました。



包丁、上手くできるかな？



みんなで作ったカレー！
おいしーい！



花火～盛り上がりました！～

夜はキャンプファイヤーを行いました。燃え盛る炎を囲みゲームをし、班ごとに歌を歌ったり、リコーダーで演奏したり、数日前に初めて会った子どもたちが一緒に考えて発表しました。花火大会では打ち上げ花火に大歓声で盛り上がりました。

3日目は朝食後清掃をして3日間の感想文を書きキャンプ場を離れ途中宮ヶ瀬ダムがある県立あいかわ公園で昼食を取り無事に帰ってきました。

天候にも恵まれ、大きなけがや病人も出ずみんなが楽しく過ごせることができたことが私たち青少年指導員にとってもとても楽しく充実した3日間でした。

来年も子どもたちの「仲間づくり」ができるように、青少年指導員協議会として企画をしていきたいと思っております。多くの子どもたちの参加を待っています！



紙飛行機大会

金沢中部地区



7月27日(日)金沢中部地区で紙飛行機大会が行われました。

会場のハイテラス金沢文庫には暑い中、子どもたちや保護者、地区のお年寄りの方々、合わせて50名以上が集まりました。最初に型紙に描かれたドラえもんやポケットモンスターの紙飛行機をハサミで切り取り、組み立てることから始めました。小さい子どもたちは、最初はなかなかうまく作れませんでした。お母さんたちに教わりながら、何とか作ることができました。次にお年寄りの方に昔の紙飛行機の作り方を教わりました。昔は新聞のチラシなどを使い、それを折って紙飛行機を飛ばしたそうです。手順を教わりながら折っていくと見事に大きな紙飛行機ができあがりました。広場に移動して作った飛行機やプラスチックで作った竹とんぼを飛ばしました。うまく飛んだら歓声が上がリ、飛ばなくても楽しそうでした。

紙飛行機を飛ばしたあと、恒例のスイカ割りを行いました。去年はすぐにスイカが割れてしまい、全員ができなかったのが今年では細い竹の棒を使うことにしました。棒が見事に命中しても簡単には割れなかったのが子どもたち全員が参加することができました。大変暑い日に行われたので、みんなでスイカをおいしそうに食べていました。最後に子どもたちに今日一番楽しかったのは何か聞いたところ「スイカ割り」と答えたのが印象的でした。



運動会

六浦東地区

6月8日(日)瀬ヶ崎小学校にて六浦東地区連合運動会を開催しました。当日は雨のため体育館で競技が行われ、小学生170人の参加がありました。競技は12種類あり、いくつか紹介しますと、1年生から6年生で行われるジグソーパズルゲームでは、10チームを2回に分けて行い、ベニヤ板製のパズル板に各チームの用意したイラストカードを貼り付けます。なかなかパズルの位置が決まらなかったり、すぐ出来たりと子どもたちは笑顔で競技を頑張りました。また、綱引きでは、子ども対大人、子ども対子どもと、参加者がせいっぱい力を出し切っていました。本年度は雨のため室内の競技となりましたが、無事に終わり良かったと思います。各地区の子ども会役員、スポーツ推進委員、保護者、ほか関係者の皆様方に感謝する1日でした。



柴シーサイドファームでのジャガイモ堀り

六浦地区



今年も6月1日(日)に、六浦地区連合町内会・六浦地区社会福祉協議会主催の、柴シーサイドファームでのじゃがいも堀りのイベントが開催されました。

当日は朝から快晴で天気が良いほどで、気温も高めでしたが、9時には総勢250名余りが瀬戸神社に集合しました。この中には応援に来てくれた六浦中学校の先生・生徒たち30数名と青少年指導員・スポーツ推進委員の12名も含まれています。連合町内会長の挨拶の後、注意事項を確認して、全員で神社を出発しました。途中、海の公園で休憩した後、約一時間半のウォーキングで柴シーサイドファームに到着しました。順番に畑の中に案内されて、各自それぞれ自分の口数のじゃがいもを一所懸命掘りました。残念ながら今年のじゃがいもは例年に比べ小ぶりでしたが、それでもみんな持ち帰った袋が一杯になるまで掘り続けました。掘り終わって今度は

みんなで、お昼ご飯代わりに自家製の豚汁を食べました。青空の下で食べる豚汁はとてもおいしく感じられました。おなか一杯になって元気を取り戻して、帰り道も滞りなく歩き終わりました。今年も事故なくイベントを終えることができ、またいろんな方と交流ができて本当に良かったと思います。

